



成隣だより

令和5年9月1日
第5号
昭島市立成隣小学校
校長 松川 靖弘
TEL 042-541-0068



HPはこちら

目標×目的

校長 松川 靖弘

夏の甲子園は107年ぶりの慶応義塾高等学校の優勝で幕が下りました。スポーツマンシップを体現する両チームの球児たち。インタビューでは両校監督からでる名言の数々。私は、特に森林貴彦監督のコメントが気に入り、著書を読みました。



運動会の練習が始まります

来週から10月7日(土)開催の運動会に向け練習が始まります。今年は、4年ぶりに全校児童が校庭に一堂に会しての開催です。熱中症対策としての午前中開催。入れ替え制による保護者の参観。競技種目の精選。特に表現は2学年合同で取り組みます。本校にとっても、運動会の価値を問い直す機会になると考えています。

本番で子供たちが練習の成果を伸び伸びと発揮することを目標とします。取組を通して子供たちに育てたいこと、目的を明確にして指導にあたります。安全に気を付けながら限られた日程で仕上げるというタスクもあります。「教えること」と「導くこと」のバランスを工夫しながら、教員も子供とともに成長する1か月が始まります。

高校野球の価値とは？ 目標と目的がぶれない指導

慶応義塾高等学校野球部 森林貴彦監督の著書『Thinking Baseball』を一読して、一番、感銘を受けたことは、目標と目的がぶれずに生徒の指導にあたっていること。そして、監督自身が指導者として学び続けている姿でした。

監督は、高校野球の価値とは何か？と読者に問い直します。そして、甲子園で優勝することは目標であり、その先の社会で活躍できる人を育てるのが目的であると、指導者として、ぶれない指導観を記しています。

生徒は「自分で考えながら練習したり、プレーしたりしているか？」「野球そのものを楽しんでいるか？」生徒一人一人と向き合いながら、よりよいコーチングを学び続ける森林監督の姿には、教育に携わるものとして学ぶものが多くありました。



令和4年度 運動会 6年 表現
『団結、そして飛躍～型破りの挑戦で思い出を形に～』

『十分な睡眠をとり、朝食をしっかりと食べる』お子さんの熱中症予防にご協力ください

9月第2週の天気予報では、最高気温が30度を超える日が続き、まだまだ酷暑が続きます。熱中症の予防として、十分な睡眠と朝食をしっかりと食べることができるよう生活リズムを整えてください。